

## 共創型学習 (Creativity Development)

### 埋もれた文化遺産 I (Buried Cultural Heritage 1)

中村 豊・准教授/埋蔵文化財調査室, 遠部 慎・助教/埋蔵文化財調査室

2単位 前期 金 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『総合科目』)

**【授業の目的】** 受講生自身が能動的に行動することによって、自ら問題点を見出し、創成する一方法を学ぶこと場とする。本授業では、古代人の技術を体験し、また遺跡に自らの足で赴くことによって、単なる知識としてではなく、実際の古代人の生活を知り、現代社会を考える機会としたい。

**【授業の概要】** 徳島大学近辺の遺跡を散策する。また、出土した考古遺物を製作することによって、古代人の実生活を体験してもらう。その後、県内の遺跡を訪問する機会を設け、グループ形式で調べて、まとめ、それぞれ発表を行う。それらの作業を通して、古代人の生活についての理解を深め、現代社会を相対化する。

**【キーワード】** 文化財, 庄・蔵本遺跡, 常三島遺跡・新蔵遺跡, 実験考古学

**【先行科目】** 『歴史と文化/考古学概論 I』(1.0)

**【関連科目】** 『歴史と文化/徳島を考える』(0.5)

**【到達目標】** 大学構内、県内の埋蔵文化財について実際に触れたり、調べたりする過程において、文化財を身近なものとしてとらえ、それらについての理解を深める。

**【授業の計画】**

1. オリエンテーション・常三島遺跡散策
2. 徳島大学構内の遺跡について
3. 徳島城下町・新蔵遺跡散策
4. 徳島城散策
5. 石器づくり 1
6. 石器づくり 2
7. 拓本を取ろう
8. 勾玉づくり
9. 研究発表課題概要説明・準備
10. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
11. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
12. 研究発表課題:中間発表・討議
13. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
14. 研究発表課題:文献探索・現地踏査

15. 研究発表会

16. 総括授業

**【教科書】** 教科書は使用しません。適宜プリントを配布します。

**【参考書等】** [参考資料]

**【成績評価の方法】** 授業への取り組み状況 50%, 報告・発表会 50%として評価する

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** [注意]

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220805>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 中村 (088-633-7224, [yunaka@clin.med.tokushima-u.ac.jp](mailto:yunaka@clin.med.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 8時30分～17時30分)

⇒ 遠部 (088-633-7236, )

**【備考】** 土器作りなどの考古学的な実習があります。汚れてもかまわない服装をお勧めします。また、遺跡散策の際には、歩きやすい靴をお勧めします。主に常三島キャンパスにおいて授業を行います。その他、土日を利用して博物館などの見学を予定しています

# Creativity Development

## Buried Cultural Heritage 1

Yutaka Nakamura · ASSOCIATE PROFESSOR / ARCHAEOLOGICAL HERITAGE MANAGEMENT OFFICE, Shin Onbe · ASSISTANT PROFESSOR / ARCHAEOLOGICAL HERITAGE MANAGEMENT OFFICE

2 units 前期 金 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『総合科目』)

**Target)** 受講生自身が能動的に行動することによって、自ら問題点を見出し、創成する一方法を学ぶこと場とする。本授業では、古代人の技術を体験し、また遺跡に自らの足で赴くことによって、単なる知識としてではなく、実際の古代人の生活を知り、現代社会を考える機会としたい。

**Outline)** 徳島大学近辺の遺跡を散策する。また、出土した考古遺物を製作することによって、古代人の実生活を体験してもらう。その後、県内の遺跡を訪問する機会を設け、グループ形式で調べて、まとめ、それぞれ発表を行う。これらの作業を通して、古代人の生活についての理解を深め、現代社会を相対化する。

**Keyword)** 文化財, 庄・蔵本遺跡, 常三島遺跡・新蔵遺跡, 実験考古学

**Fundamental Lecture)** “History and Culture/Outline of Archeology I”(1.0)

**Relational Lecture)** “History and Culture/Geography and Culture of Tokushima”(0.5)

**Goal)** 大学構内、県内の埋蔵文化財について実際に触れたり、調べたりする過程において、文化財を身近なものとしてとらえ、それらについての理解を深める。

**Schedule)**

1. オリエンテーション・常三島遺跡散策
2. 徳島大学構内の遺跡について
3. 徳島城下町・新蔵遺跡散策
4. 徳島城散策
5. 石器づくり 1
6. 石器づくり 2
7. 拓本を取ろう
8. 勾玉づくり
9. 研究発表課題概要説明・準備
10. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
11. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
12. 研究発表課題:中間発表・討議
13. 研究発表課題:文献探索・現地踏査

14. 研究発表課題:文献探索・現地踏査

15. 研究発表会

16. 総括授業

**Textbook)** 教科書は使用しません。適宜プリントを配布します。

**Reference)** [参考資料]

**Evaluation Criteria)** 授業への取り組み状況 50%, 報告・発表会 50%として評価する

**Re-evaluation)** 無

**Message)** [注意]

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220805>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ Nakamura (+81-88-633-7224, [yunaka@clin.med.tokushima-u.ac.jp](mailto:yunaka@clin.med.tokushima-u.ac.jp)) MAIL

(Office Hour: 8時30分～17時30分)

⇒ Onbe (+81-88-633-7236, )

**Note)** 土器作りなどの考古学的な実習があります。汚れてもかまわない服装をお勧めします。また、遺跡散策の際には、歩きやすい靴をお勧めします。主に常三島キャンパスにおいて授業を行います。その他、土日を利用して博物館などの見学を予定しています